令和5年8月 30 日
厚生労働大臣指定法人･一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター

メディア関係者各位【掲載依頼】

学生自身が考える、子ども・若者の自殺対策
「いのち支える動画コンテスト 2023」優秀賞 4 作品を 8 月 30 日に公開

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人「いのち支える自殺対策推進センター」（東京都千代田区、代表理事・清水康之、略称「JSCP」）は、当事者の目線で子ども・若者の自殺対策に関する啓発を展開し、若者に自殺問題を「自分ごと」化してもらうことを目的に、学生を対象とした「いのち支える動画コンテスト 2023」を今年初めて開催しました。全国から計 138 作品の動画アイデア（絵コンテ）の応募があり、厳正な審査で「優秀賞」に選出された 4 作品が学生自身の手で動画化され、この度完成しました。受賞した 30 秒動画 4 作品を、2023 年 8 月 30 日（水）に公開しました。
（コンテストの詳細はこちらからご覧いただけます。https://jscp.or.jp/action/movie-contest-2023.html）

動画は、広くお使いいただけるよう著作権を JSCP が一括して管理しており、紙媒体や放送、ネット媒体、SNS への掲載などに広くご利用・引用いただけます。夏休みが終わる 8 月末～9 月初めは、子どもの自殺リスクが特に高まる時期であり、特段の配慮が必要とされています。さらに、9 月 10 日は「世界自殺予防デー」、この日から 16 日（土）までの 1 週間は「自殺予防週間」と続きます。パパゲーノ効果（報道が自殺を抑止する効果）のある報道に、ぜひご活用ください。

また、動画を監督した学生への取材をご希望の場合は JSCP にご連絡ください。取材の調整をさせていただきます。表彰式（詳細は下に記載）もご取材いただけます。

■本コンテスト詳細および動画視聴は上記 URL または右記 QR コードからご覧ください。

■映像・画像素材の提供／個別取材希望は広報室にお問い合わせください。

【表彰式のご案内】

下記の日程で表彰式を開催致します。取材をご希望の方は、下記フォームよりお申し込みください。詳しい情報をお送り致します。なお、9 月 7 日（木）11 時を締め切りとさせていただきます。

- 開催日時： **2023 年 9 月 9 日（土） 13:30~14:30**
- 場　　所： オンライン開催
- プログラム：
  ❶受賞作品の発表・上映　❷表彰と受賞者からのコメント　❸審査員からのコメント
  表彰式の取材申込はこちら https://forms.office.com/r/AW2rZ7pDcE

2022 年の「学生・生徒等」（小中高校生・大学生・専修学校生など）の自殺者数は 1,063 人で、5 年前より約 30%増加しました（警察庁「令和 4 年中における自殺の状況」より）。若者の 2 人に 1 人が「死にたい」と思ったことがあるというデータもあり（日本財団「第 5 回自殺意識全国調査」調査結果より）、状況は極めて深刻です。「児童・生徒」（小中高校生）に関するデータは、令和 4 年版自殺対策白書　第 2 章「第 3 節　学生・生徒等の自殺の分析」をご参照ください。

＜本件に関する問い合わせ先＞
厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター
広報室

■優秀賞受賞作品・監督・コメント

「セルフケア・SOS 部門」優秀賞　×２作品

・『相談はうまく話せなくても大丈夫』　齋藤 真衣子（筑波大学 大学院生）

つらい時の対処法として、「相談しよう」と書かれることが多いと思います。相談することは大事な反面、自分の状況や気持ちを言葉にすることは意外と難しく、どのように話せば良いか分からず抱え込んでしまう方もいると思います。そんな時、「うまく話せなくても、打ち明けてみよう」と一歩を踏み出せるような作品を作りたいと考えました。

・『伝わるよ。』　木下 望有（多摩美術大学 ２年生）

日々積み重なっていく不安や悩みを自分の内だけに溜め込んでしまい、つい下を向いてしまう…そんな時、向き合ってくれる友達の存在が前を向かせてくれたことがあり、気持ちが晴れたことがあります。自分で自分を追い詰めてしまう人に、誰かにその悩みを伝えてみることの大事さを映像にできたらと思い、制作しました。

「ゲートキーパー部門」優秀賞　×２作品

・『あなたの勇気で支えてほしい』　愛純 百葉（佐賀県　高校１年生）

同世代の子が自殺をするニュースなどが流れて来た時にすごく辛い気持ちになります。この動画では、誰も傷つかないようにと気をつけながら絵コンテを書かせて頂きました。みんな１人では生きていけないので、なにかあれば誰かを頼って生きて欲しいというメッセージが伝わったらいいなと思っています。

・『笑顔の裏には…』　山下 真愛・下出 遥華（金沢工業大学　大学院生）

私たちは、自殺願望を抱えたことがある２人です。この作品には、実体験をもとに、"笑っている人でもしんどい思いをしている場合があることを知って欲しい"というメッセージを込めました。笑っている人でもしんどいのかもしれないということを頭の片隅に置いておいてください。それだけでも、救われる命があります。

＜本件に関する問い合わせ先＞

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター

広報室